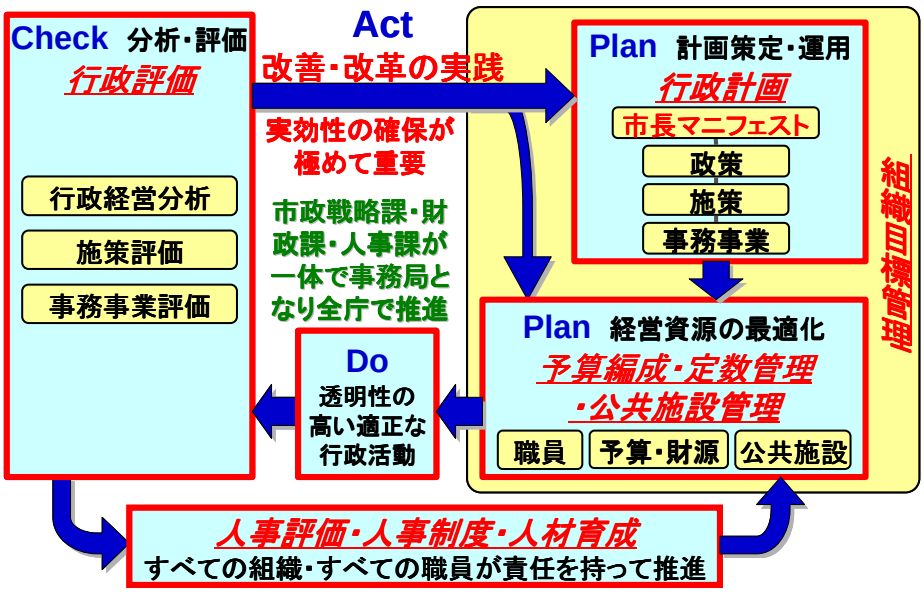
PDCA（Plan-Do-Check-Act）サイクルのあり方

図　自治体経営の全体像



- ＰＤＣＡサイクルの実効性を担保するには、基本計画以下で、次のような要件が考えられる。

表　ＰＤＣＡサイクルを実現するための要件

分類	要件
Ｐｌａｎ （計画策定・運用）	・施策等の目的や目標、対象、期待する成果などが、計画策定時に具体的に明確に設定されていること。 ・総合計画と行政評価（施策評価や事務事業評価）との間で、施策体系や事業の単位が統一されていること。 ・市長のリーダーシップのもと、重点施策・事業が総合計画に位置づけられていること（優先順位が明確であること）。 ・総合計画の政策・施策の目的や方向性と、各部課の組織目標や活動方針が連携していること。
Ｐｌａｎ（経営資源の最適化）	・経営層や管理職が、経営資源や事業に関する情報を円滑に入手・分析することができ、経営資源の最適化に向けた意思決定が可能であること。
Ｄｏ（透明性の高い適正な行政活動）	・事務事業の進捗状況を管理する仕組みがあること。
Ｃｈｅｃｋ （分析・評価）	・施策や事業の目的達成に向けて、適切な目標（内容及び目標値）が設定されていること。 ・総合計画で掲げた目的の達成状況や、各部課の組織目標の達成状況を評価する手段として、施策評価や事務事業評価が実施されていること。
Ａｃｔ （改善・改革の実践）	・施策評価や事務事業評価の評価結果をもとに、総合計画で掲げた施策・事業の優先度や、各施策の進捗状況等を把握し、経営資源の最適化や事業の見直しにつなげる手続きがあること。